

2026年度 和泉短期大学 シラバス【専攻科】

授業科目名	ヒューマンコミュニケーション		教員氏名	齋藤香織	
科目ナンバー	Ⅲ-6-1-5				
学年	専攻科		開講学期	後期	
授業形態	演習		単位数	1単位	
必修・選択	専攻科		実務経験	介護福祉士	11年
テーマ	障害の特性に応じたコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーションを学ぶ				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教の精神を踏まえて、人々の権利を護り共に生きる人としての価値観を養うための科目			
	科目群Ⅱ 原理	多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕を実践する人間観を養うことができる科目			
	科目群Ⅲ 知識・技能	高齢者・障がいのある人を取り巻く環境を知り、様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につけることができる科目			○
	科目群Ⅳ 実践	身につけた価値観・知識・技能を現場に即して実践し、共に成長する体験を積む中で学び直し、キャリア形成の基礎を培うことができる科目			
授業の概要	コミュニケーション障害について理解し、各種障害に対応したコミュニケーションの工夫を学ぶ。介護福祉士として高齢者施設の現場で出会った実際の利用者の事例を紹介し、理解につなげる。また、介護現場はチームケアの為、チームにおけるコミュニケーションや記録の意義・方法、情報の扱い・管理についても理解を深める。さらに、チームの運営や人材育成・管理についても学ぶ。介護福祉士国家試験対策は講義内で行っていく。				
授業の到達目標	1 障害の特性に応じたコミュニケーションの実際を区別できる				
	2 チームにおけるコミュニケーションの実際と、記録・情報の取り扱い方を説明できる				
	3 チームマネジメントの概要を理解し、介護実践においてチーム運営の必要性を説明できる				
テキスト	「5コミュニケーション技術」 介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版				
参考書	介護福祉士国家試験 受験ワークブック 2027上巻 中央法規出版				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(ゲーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				
	その他:				
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験・筆記試験	60	定期試験は実施しない まとめテスト60%		
	授業内課題・発表等	30	課題提出30%		
	参加度・学習態度等	10	授業内事前課題10%		
	その他				
再試験	行う	行なわない場合の理由			

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	コミュニケーション障害の理解と対応の基本を理解する	
	授業外学習	〈復習〉DVDの感想レポート	55分
第2回	テーマ 内容	認知症のある人へのコミュニケーションの支援を理解する	
	授業外学習	〈予習〉認知症の種類と症状(アルツハイマー、脳血管、レビー小体等)について下調べしておく	55分
第3回	テーマ 内容	精神障害(気分障害・統合失調症)のある人へのコミュニケーションの支援を理解する	
	授業外学習	〈予習〉統合失調症の症状(陽性症状、陰性症状)について下調べしておく	55分
第4回	テーマ 内容	視覚障害のある人へのコミュニケーションの支援を理解する 点字体験	
	授業外学習	〈課題〉点字一覧表を用いて墨点字を読む	55分
第5回	テーマ 内容	視覚障害のある人へ同行援護の方法 ガイドヘルプ体験	
	授業外学習	〈復習〉同行援護体験レポート	55分
第6回	テーマ 内容	聴覚障害のある人へのコミュニケーションの支援を理解する	
	授業外学習	〈復習〉手話の挨拶と自己紹介が出来るよう練習しておく	55分
第7回	テーマ 内容	失語症・高次脳機能障害のある人へのコミュニケーションの支援を理解する	
	授業外学習	〈課題〉失語症のコミュニケーションノートを作成する	55分
第8回	テーマ 内容	知的障害・発達障害のある人へのコミュニケーションの支援を理解する	
	授業外学習	〈予習〉知的障害の定義、発達障害の種類と症状(ASD、ADHD、LD)について下調べしておく	55分
第9回	テーマ 内容	チームにおけるコミュニケーションの意義・目的を理解する(報告・連絡・相談)	
	授業外学習	〈課題〉実習Ⅱにおいて、介護職員のほう・れん・そうの様子を観察しレポートにまとめる	55分

第10回	テーマ 内容	介護現場の記録の目的や種類を理解し、状況に応じた記録を書く	
	授業外学習	〈復習〉教科書P207～227を確認しておく	55分
第11回	テーマ 内容	会議・議事進行・プレゼンテーションの工夫	
	授業外学習	〈課題〉実習で見学した会議の様子を介護職の発言を中心にまとめる	55分
第12回	テーマ 内容	事例検討を行う意義・目的・情報の活用と管理の技術・個人情報保護について理解する	
	授業外学習	〈予習〉高齢者施設、障害者施設の情報発信の実際を実習Ⅱの施設で確認しておく	55分
第13回	テーマ 内容	期末試験に向けた総まとめ	
	授業外学習	〈予習〉これまでの12回分の学習内容を、キーワードを確認しておく	55分

#### 課題に対するフィードバックの方法

第4回、第7回に出された課題は10点満点、第9回、第11回に出された課題は5点満点にて評価後、授業内にて共有し返却する。質問は授業時間内、又は次回授業時に回答する。